育成会　かわさき

知的障害者親の会　会報　№218
2025. 11. 1

川崎市への令和８年度施策要望書提出

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会　長　　加藤　敦子

今年の夏は猛暑続きだったため、その影響で体調を崩されている方も多くいらっしゃると聞きます。皆様はいかがお過ごしでしょうか。疲れを溜めず、くれぐれもご自愛ください。

さて、８月１８日（月）川崎市に「令和８年度施策要望書」を提出しました。要望としては継続事項が多いのですが、それは「要望はいまだ叶っていない」ということにもなりますので、引き続き粘り強くお願いしていきます。

今回は要望書の他、お伺いしたいこととしていくつかの質問事項を事前にお送りしていました。その中で、柿生学園の運営母体（指定管理者）が変わることに関して、会員から不安の声が当会に寄せられています。これからの支援や職員体制についてなど、事業所間の話し合いには市の職員が必ず立ち会って状況確認をしているという説明がありました。しかし、いまだ利用者家族からの不安の声は届いています。様々な立場や事情があることは理解できますが、親の声を届けるのが当会の役割と考えておりますので、今後も川崎市に伝えていきたいと思います。

また、災害時個別避難計画について、ヒアリングは進んでいるようです。せっかく集められた大切な情報ですので、是非適切に管理され有効に生かされるような施策になるようお願いしました。

幸区と多摩区に拠点施設がないことにも触れましたが、状況は全く変わっていないとのこと。建設場所がなければ実現しない要望ですが、必要としている方々はたくさんいらっしゃいます。皆様の中でも土地についての情報をお持ちでしたら、教えていただけると助かります。

川崎市に様々な要望を伝えて実現していくことが、当会の最も重要な役割の一つです。これからも、会員の皆様のたくさんの声を私たちに届けてください。
よろしくお願いいたします。

ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。

川崎市議会議員団との懇談会

副会長　　吉野　明美

川崎市への令和８年度の施策要望に向けて、７月１日（火）公明党との政策懇談会、７月４日（金）日本共産党との懇談会、７月８日（火）みらいとの意見交換会を行いました。

加藤会長挨拶の後、以下の重点項目について説明をしました。

１．人材の確保と育成について
２．相談支援事業の充実
３．住まいの整備（グループホームや単身者住居）
４．各区に地域で核となる地域生活支援の拠点施設の建設
５．災害時の支援
６．短期入所（ショートステイ）の整備と日中一時支援事業へのサポート
７．生活介護事業所における送迎の整備について
８．特別支援学校卒業生在宅ゼロ施策の継続並びに通所施設や就労先などになじめず在宅でひきこもりがちな人に対する支援の強化

障害者が地域で暮らすには多くの支援が必要になります。人手不足や専門的スキルを持つ支援者の不足が余裕のない支援に繋がっていることもあると話しました。

また、グループホーム利用に際して地域等の条件により家賃に差があるにもかかわらず、家賃補助が一律のため、障害基礎年金の範囲内での利用が困難な人がいることから、ケースによって家賃補助の増額をお願いしました。

公明党

日本共産党

みらい

今年も継続した内容が多いことをお伝えすると、どの会派でも解決していないことの表れであることを共感していただき、少しでも解決していけるよう議会で声をあげていくと心強いお言葉をいただきました。川崎市への要望のための大切な時間になりました。

「第８回手をつなぐフェスティバル」のお知らせ

障害への理解・共生の意識を深めることを目的に手をつなぐフェスティバルが開催されます。

※　当会は、会の紹介と知的発達障害疑似体験で参加します。

日　時　令和７年１１月２９日（土）午前１０時００分～１４時
場　所　東急ドレッセとどろきアリーナ　　入場無料　　雨天決行
　　武蔵小杉駅（北口）から無料送迎バスがあります。

【お問い合わせ先】
　　手をつなぐフェスティバル実行委員会事務局
　　電話　044-829-6610　　FAX　044-829-6620

海水訓練『ホテル三日月シーパーク勝浦　スパドームアクアパレス』

余暇活動委員　　小澤　千枝

７月１６日（水）海水訓練を開催しました。参加人数は会員が４３名、ボランテイアさんが１２名の計５５名でした。天気予報は雨。１号車は小杉で、２号車は高津で乗車する時に大雨になり、ずぶ濡れになってしまいました。雨天決行、千葉県勝浦市に向け出発しました。

途中、東京湾アクアライン「海ほたる」と「道の駅たけゆらの里」で休憩して「ホテル三日月シーパーク勝浦」に到着。「スパドームアクアパレス」は屋内の温水プールなので雨の影響はなく、浮輪で浮いたり、ボランティアさんと一緒に歩いたり、１時間余りでしたが皆さん思い思いに楽しみました。

昼食会場は「鴨川シーワールドホテル」のレストランで、加藤会長の挨拶とボランティアさんの自己紹介の後、「黒潮御膳」を食べました。

そして同じ鴨川の「カステラ工房ルアーシェイア」へ。バスに店員さんが来て「千葉は全国でも有数の鶏卵生産地で、その新しい卵で作ったカステラです。」と説明。カステラの試食をしてから店内に入りました。いろいろな味のカステラがあり、迷いながらも袋いっぱい買っていました。「海ほたる」で休憩をして２台のバスは解散しました。

今回は試みとして予めボランティアさんと男子の組み合わせを決めたのですが、概ねスムーズに支援が行われたようです。ボランティアさんのご協力に感謝します。

緑陰訓練『おもちゃのまち バンダイミュージアムとあしかがフラワーパーク』

余暇活動委員長　　安達　ゆかり

９月２７日（土）暑さが残る日でしたが、緑陰訓練を開催しました。参加者は７８名でした。

はじめの目的地は栃木県の「バンダイミュージアム」です。途中、事故渋滞があり、少し遅れての到着となりました。エントランスホールには、原寸大５．６ｍのガンダムの胸像があり、皆さんお気に入りの撮影スポットでした。展示されているお人形やおもちゃは、年代が表示されてショーケースに並んでいました。その時代を思い出し、懐かしい気持ちで見学しました。

昼食は「あしかがフラワーパーク」で「花水木御膳」を食べました。中でも湯葉は、味が濃くとても美味しかったです。昼食後は、ソフトクリームを食べたり、庭園を散策したりと思い思いに過ごしました。庭園では、青や紫の睡蓮やアメジストセージなど季節の花がきれいに咲いていました。気温も上がり、かなり暑かったので売店でお買い物を楽しんでいる方も多くいました。

その後、地元の大麦を使った焼き菓子などを生産販売している「大麦工房ロア」でお菓子のお土産を買いました。工房の休憩所では、濃くて甘い麦茶が置いてあり、とても美味しかったです。

かわさきキャラバン隊活動報告

８月４日（月）

権利擁護副委員長　　西澤　知子

川崎市多摩市民館大会議室に於いて、多摩区社会福祉協議会福祉教育推進委員会主催の「令和７年度教職員と福祉学習支援者との交流会」で、かわさきキャラバン隊講演を行いました。多摩区内の小学校・中学校・高等学校の教職員、福祉学習に携わっている講師（当事者団体、ボランティアグループ等）、４０名の参加がありました。

加藤会長挨拶と会の紹介に続いて、知的発達障害疑似体験と朗読「ふつうって何？」をしました。皆さん一つ一つの疑似体験に真剣に参加していただき、緊張もありましたがうれしく思いました。

第２部の交流会にも参加しました。小学校の福祉施設との交流や高等学校の知的障害者のインクルーシブ教育等の興味深いお話も伺え、大変勉強になりました。

９月１６日（火）

権利擁護委員長　　阿部　多賀子

川崎市立東門前小学校にて、４年生向けに知的発達障害疑似体験を行いました。４クラスのため、２クラス（約６０名）を対象に４０分の連続２講演です。

視聴覚室の大型テレビに映し、紙芝居「ピカピカ王国から来たお友達」や写真を見せる「これなあに？」字を書いてもらう「書いてみよう」など、子どもたちに不自由な体験をしてもらいました。そして、そういう時にどうしてもらいたいか？など、質問をして交流をしました。

令和３年から毎年小学校講演をしてきましたが、コロナの影響もあり、オンライン講演でした。今回初めて小学校への出張講演となり、子どもたちと直接話をして、とても楽しかったです。「障害者の不自由さがわかった」「わかって良かった」「やさしくしたい」など感想を聞くことができました。

１０月８日（水）

権利擁護副委員長　　西澤　知子

かわさき地域生活支援拠点たじまに於いて、田島地区民児協障がい者部会の研修会に、かわさきキャラバン隊をお招きいただき、知的発達障害疑似体験を行いました。１３名の参加でした。

加藤会長挨拶と会の紹介、親の話と疑似体験、朗読を聞いていただきました。会場の隣には田島支援学校がある地域で、障害児者との関わりの深い方も多く、参加者の皆様も真剣に疑似体験に取り組み、説明には熱心に耳を傾けて下さいました。

知的発達障害について少しでも知っていただき、障害者への理解がさらに進むことを願って、これからも活動の場を広げていきたいと思います。

『手をつなぐ』を購読しませんか！！

全国手をつなぐ育成会連合会発行の機関紙『手をつなぐ』は、
身近な課題から障害福祉施策まで、暮らしに役立つ最新情報です。
年間購読料は３，９００円です。
関心のある方は、ぜひ、各支部役員までご連絡お願いします。

支部通信

茶話会（川崎支部）

川崎支部長　　安達　ゆかり

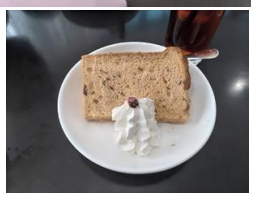
９月１０日（水）「かわさき地域生活支援拠点たじま」にて茶話会を参加者１６名で開催しました。はじめに「大師地区複合施設整備事業」の概要について、川崎市市民局コミュニティ推進部区政推進課の方から、お話を聞きました。会員の方々からは「トイレの個室の少なさ」「災害避難時の利用について」「車いす利用の方の避難について」などの質問がありました。管理を担当する法人が決まっていないため、持ち帰って質問が出た内容を検討するということでした。予定の時間がかなり過ぎてしまいましたので、休憩をはさみ、茶話会に移りました。

茶話会では、会員の方から「ご自身の健康について」「お子さんの生活」「ご兄弟のお話」など、大変だったことや楽しかった出来事、この先を考え始めたことなどをお聞きしました。体調を崩してしまった方の話では、親が病気であっても休めないとのことなので、改めて「健康」の大切さを感じました。和やかな雰囲気の中で、会を終了することができました。これから、皆さんとお話する機会を増やしたいと思います。

あさお語ろう会（麻生支部）

麻生支部　　熊谷　百合子

９月１６日（火）に、特定非営利活動法人ぶらりば「コミュニティカフェ Lien（りあん）」で『あさお語ろう会』を開催しました。５名の参加でした。本日の日替わり弁当「鶏の甘酢あん」や手作りの「シフォンケーキ」を食べながら、半年ぶりに会う皆さんとのおしゃべりも弾みました。



グループホームや通所でのこと、柿生学園の指定管理者が変更になることへの心配、「成年後見はどうする？」親も子も高齢化していくことへの不安など･･･。共感できる話題であっという間に時間が過ぎていきました。

最近は、子どもが親より先に旅立ったということも聞こえてきます。そのような悲しみに寄り添うケアも大事なことだと思います。家族だけでは解決できない問題もあるかもしれません。話を聞いて支えてくれる仲間の存在は心強いと思います。会員同士の支え合いも「親の会ならでは」でしょうか。

次回は、令和８年３月３１日（火）に行います。

おしゃべり多摩１０月（多摩支部）

多摩支部長　　神田　明子

１０月２日（木）福祉パルたま研修室で行いました。参加者は１２名でした。子どもさんがグループホームやシェアハウスを利用している方が半数近く来てくださいましたので、それぞれの状況を話していただきました。

施設を見学した方からの情報もあり、施設のスタッフ、部屋の形態（各個室にトイレ・洗面台・電気メーターがある）、食事について、普段の様子などを聞くことができました。休日の過ごし方やグループホームから通所施設、自宅から通所施設への通所手段はどのようになっているのかなど、法人によって様々であるということがよくわかりました。

また、シェアハウスには行政の家賃補助が出ないこと、生活保護を受けた場合のメリットデメリット、マイナ保険証はホームに預けるのか、また預かってくれるのかなど、内容の濃いおしゃべりが続きました。次回は１２月５日（金）に行います。

高津わいわい茶話会（高津支部）

高津支部長　　三浦　ルイ子

１０月８日（水）福祉パルたかつ研修室にて、「高津わいわい茶話会」を行いました。副会長・相談役も出席してくださり、８名の参加でした。

近況報告では、子どもが２月にグループホームに入ったと報告があり、入居に至るまでの思いや準備されてきたことなどを話していただきました。皆さんから「グループホームに入るきっかけは？」「家賃は？」など、いろいろな質問がありました。

また、「今通所している施設を変えずに入れるグループホームを希望しているが中々見つからない。」「子どもの通所施設での様子を聞き、もう少し工夫した支援をしてほしいと伝えたが･･･。」「ケガで入院したときに近くの親戚にも助けてもらい、安心して過ごせた。」などの報告がありました。

久しぶりの開催でしたが、皆さんとわいわいと終了時間ギリギリまでおしゃべりをしました。

すったもんだの毎日

息子は食べることが大好きです。増え続ける体重の対策として、施設の看護師さんから自閉症の息子に分かりやすいアドバイスをいただき、自主的に「運動する！」と、独りウォーキングを３年程前からはじめました。最初は３０分ぐらいで終了していましたが、どんどん時間が増えて最近は、平日は平均１時間半、休日は２～３時間、出かけていきます。

今年８月大変なことが起こりました。いつものウォーキング中に夕立と雷に遭遇してしまいました。スマホをかけてきて一言「お迎えする！（迎えに来て！の意味）」「どこにいるの！？」「ここだよ～」「ここって、どこ？」「中原！」中原といっても…と思いつつ「そこを動かないでね！」と伝え、GPS の見守りサービスで居場所を探し、幸い動かずに居てくれたので、無事迎えに行くことができました。

今まで施設の行き帰りなど行き慣れた所以外１人で出歩くことがなかった息子。現在 GPS が使えない時などに備えて一緒に居る時、「今、何が見える？」と、練習中です。息子の一言「マンション」確かにあっているけれど迎えにいける情報ではありません…３個ぐらい答えてもらいましょうか…これからしばらく練習です。　（Ｙ．Ｍ）

知的障がい児者・発達障がい児者（自閉症児者を含む）の
生サポは 家族の安心を支えます
●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、発達障がい児者（自閉症児者を含む）のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容
病気やケガで入院したとき 入院給付金 ※プランによって補償します
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します
虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金（地震・噴火・津波によるケガも対象）
賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償
就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度
特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら
■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F
TEL：03-5321-3373 FAX：03-5321-4774
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル15階
TEL：03-5401-3660
受付時間：午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）

ご入会のお問合せはこちら
一般社団法人やまゆり生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3丁目17番2号 神奈川県社会福祉センター5F
TEL：045-314-7716 FAX：045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2025年1月現在の内容です。(D-007608 2026-03)

2025 年 10 月 1 日現在の加入者は 10,400 名余です。毎月 1 日付で加入できます。2025 年度も「生活サポート総合補償制度」をよろしくお願いいたします。

施設紹介

《ナーシングホーム　アルク川崎長沢》

株式会社　RANOK(ラノック)

９月１２日（金）「ナーシングホーム　アルク川崎長沢」の見学に行きました。

高齢者と障害者対象の共生型施設という今まであまり聞いたことない形態なので、興味を刺激されながら行ってきました。

１．建物・間取り・利用している方について

多摩区の生田高校交差点近くの建物は、５階建てで１階はコンビニが入っています。昨年完成したばかりの建物はピカピカで気持ちよく清潔感がありました。障害者のスペースは５階で、下の階は高齢者の施設になっています。居室は鍵付きの個室で、トイレもあり、電動ベッドが配置されているそうです。館内は完全バリアフリーになっていて、車椅子でも楽々すれ違える広い廊下には危険防止のためカメラが設置されています。利用者は障害区分４～６で、身体障害者の方もいます。５０代の利用者が多いですが、３０代の方もいて男女比は半々程度だそうです。

２．支援体制

高齢者施設と一緒なので、看護師や介護士は２４時間常駐しているとのこと。障害者も支援してくれるそうです。その他、老人施設と併用なのでリハビリなどに特化しています。

３．１日の過ごし方

生活介護などを利用する人は、送迎車が来てくれれば対応してくれます。

入浴は最大で週６日入ることができるようですが、職員体制などにより決まるようです。休日は自宅に帰る人、自室でのんびり過ごす人、ヘルパーさんと出かける人など様々だそうです。滞在する人には食事の提供はあります。１階にコンビニがあるので、買いに行く人もいるとのことでした。

４．食事について

基本３食提供されますが、自宅に帰ったり、日中生活介護に行く時はキャンセルできます。食事の時間は決まっていて、食堂でも部屋でも食べられるそうです。食堂では高齢者施設の方たちと一緒に食べることになるので、そこで交流もあるそうです。

５．医療管理について

内科、精神科、歯科などは定期的にお医者さんが来てくれるそうです。個人的に通院がある人は家族などが付き添って行くことになります。感染症に罹患した時は部屋で過ごすようにして、実家に帰すなどの措置はしないとのことでした。

６．その他

障害者の入居数は１９床で、今のところは満床だそうです。キャンセル待ちの方もいるようで、希望してもすぐには入れないようです。体験入居ができるそうで１泊3,300円とのことでした。

食堂

この施設はグループホームではないので、行政からの家賃補助の対象にはなりません。面会は特に決まりはなく、いつでも会いに行かれるようです。形態としてはシェアハウスのようです。日中は生活介護などの施設に通うことができるのは魅力に感じました。

（梅田　順子）

グループホーム見学
ＮＰＯ法人療育ねっとわーく川崎『ひまわり荘』

９月２９日（月）身体障害者と知的障害者のグループホーム「ひまわり荘」を見学しました。どのような住まいにしたいのか当事者の意見を取り入れ、２０１７年多摩区に建てられました。１階は一人暮らしの方のアパートと短期入所、２～３階部分が「ひまわり荘」です。

１．利用者さんについて　現在、男性１人、女性４人の計５人（知的障害者は２人、身体障害者３人）の方が入居しています。また年齢は３０歳後半から６５歳で、６５歳の方は障害者福祉サービスと介護保険サービスを併用しています。

２．世話人さんの勤務、サポート体制について　スタッフは平日２人、土日１人です。その他、身障者２人は重度訪問介護のヘルパーを利用しています。１５：３０～２０：００はスタッフとヘルパーの計４人体制。２０：００～翌日１０：００の夜勤はスタッフ２人。朝７：００～１０：００はヘルパーが２人加わり４人体制になります。

３．１日の流れ　全員通所しています。１５：００～１６：００に送迎車でホームに戻り、夕食は配食サービスを利用し、１７：３０頃から自室やリビングで食べています。入浴は、知的の方は毎日、身体障害の方は介助に複数の人が必要なため曜日を決めて入浴しています。その後は自由時間があり就寝（消灯２２：００）となります。朝は食事や支度を自分のペースで準備して出かけます。

４．休日の過ごし方　休日は３人の方が外出支援のヘルパーさんと外出をして、自宅に帰ります。残りの２人は両親が高齢などの事情で自宅には帰らず、ヘルパーさんと過ごしています。

５．食事について　配食サービスを利用してご飯とお味噌汁をホームで提供しています。朝ごはんのおかずはヨーグルトや納豆などを店舗で購入しています。

６．医療管理について　法人のドクター、ナースの定期的な巡回があり、それとは別に、全員が月1～２回訪問診療を利用､健康観察と医療相談をしています｡(ワクチン接種も)個人で利用しているお医者さんへの通院もあります。歯の治療や検診は歯科センターに通う方、訪問歯科を使っている方、とそれぞれです。薬剤師訪問のサービスを利用しています。複数のお薬１回分を一包化してホームに届けてくれるので家族の負担が少なくなったとのことです

７．１か月の費用　家賃は部屋によってちがいますが、２階は国と川崎市の補助を差し引くと 25,000 円。あとは実費として食費・水光熱費・消耗品（トイレットペーパー・シャンプーなど)、そして共同で使用するものは費用を人数分で割って、すべて合計しておおむね 73,000 円ほど掛るそうです。共有の備品の購入、業者によるエアコンの掃除など臨時の出費もあります。

説明を伺ったあと、子どもがグループホームの生活になじめるのか不安に思う、また細かいサービス利用が進むとグループホームが入所施設のようにならないかなど質問が出ました。世話人さんからは、「本人が望む暮らしを尊重し、本人と相談をしながら生活を組み立てていきたい。」という答えがあり心強く思いました。そして最後に利用者さんの部屋を見せていただきました。身体障害者の部屋はリフターの設置を想定した設計になっていたり、部屋にトイレと洗面台があるなど、身体・知的障害者が暮らしやすい造りになっていました。障害特性や願いを考え作られたグループホームが多くなることを願います。　（小澤　千枝）

２０２５年度第１回やまゆり生活サポート協会主催研修会

会計　　三浦　ひろみ

８月２０日（水）に開催された第１回研修会は、初の試みとして、ZOOM を利用したオンライン研修と、オンラインの参加が難しい方のために、かながわ労働プラザでの会場視聴を組み合わせたハイブリッド形式で行われました。

また、８月３０日（土）には第２回研修会として、第１回の録画を配信する形でオンライン研修が実施されました。

今回のテーマは「いのちの物語を大切にする排泄ケア～気持ちよく排泄するポイント～」で、講師は一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会理事の久保田千代美氏です。

冒頭、「気持ちよく（うんちが）出せるということが、生きる力になる！人が人として尊厳を持ち、生まれた日から最期の日まで、生きるための排泄ケアのポイントを今日はお話したい」との言葉から始まりました。訪問看護の経験から、排便に対して浣腸や摘便で対応し、自分もそれが当然の行為であると思っていたと話されました。しかし、ご本人にとっては苦痛を伴うことであり、できるだけ負担を軽減したいと思うようになりました。排便の周期は人それぞれ異なることから、周期を把握しその人に合わせた排便ケアが必要であるとのこと。実際に「スッキリ気持ちよく出せて嬉しい」のは、何より本人であるという視点がとても印象的でした。

「ＰＯＯマスター（排泄ケアのプロフェッショナル）」として活動されている久保田氏は、相手の気持ちや悩みを自分ごととして受け止め、常にご本人に寄り添った排泄ケアを実践されています。研修では、気持ちよく排便するための４つのポイントとして、①腸の動き、②排便姿勢、③副交感神経優位、④食事、について詳しく教えていただきました。また、「排便チエック」表の活用についても大変参考になりました。

排泄に関する悩みは、なかなか人に相談しづらく、気軽に話せるテーマではありません。しかし、生きている限り切り離せない大切なことです。今回の研修会での学びや気づきを、今後の自分自身や家族のケアに活かしていきたいと思います。

令和７年度川崎市障害者作品展のお知らせ

障害者の創作作品を一堂に展示し、広く社会に認識してもらうことにより障害者に対する理解を深める一助とし、また、障害者の創作意欲や創作技術の向上を図り、障害者自らの生きがいづくりに繋げていくことを目的とします。

会　場　アートガーデンかわさき　第１・第２展示室
期　間　令和７年１２月１０日（水）～　令和７年１２月１５日（日）
時　間　１０時～１８時　（最終日１３時まで）
主　催　川崎市・川崎市障害者社会参加推進センター
出展者　市内在住・在勤・在学の障害者（グループ）
作　品　絵画・写真・書・文芸（短歌・俳句・川柳等）
　　・手工芸

【お問合せ】　川崎市障害者社会参加推進センター
電　話　０４４－２４６－６９４１
ＦＡＸ　０４４－２４６－６９４３
Ｅ-mail　zksk@nifty.com

昨年度作品展の様子

川崎スポーツの会 日帰りバス研修会
「宮ヶ瀬ダムとオギノパン」

９月１４日（日）当日は天候に恵まれたものの、高速道路に入って間もなく渋滞に巻き込まれ、残念ながらオギノパンは断念することになってしまいました。

しかし、宮ヶ瀬ダムに到着すると、目の前に広がるダムの絶景と、周辺に広がる豊かな緑と澄んだ空気が心地よく、渋滞の疲れも吹き飛んでいました。

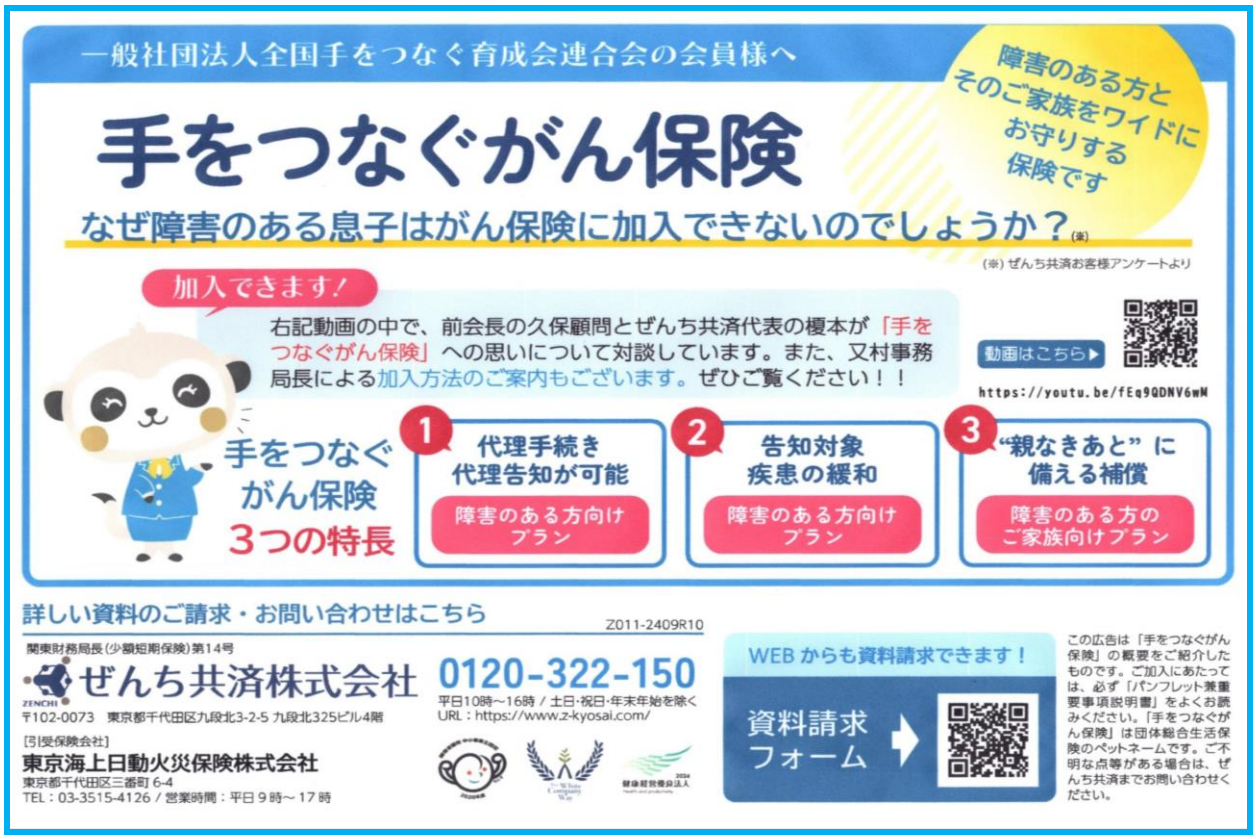
『宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館』に入り１階の展示コーナーを見学。昼食はレイクサイドカフェで名物ダムカレーを食べたりベンチでお弁当を食べたり。午後から２階のレクチャールームで、副館長より宮ヶ瀬ダムの歴史や神奈川県の水源としての重要性、環境保全への取り組みを約３０分間レクチャーしていただきました。

その後、皆が大変楽しみにしているダムの観光放流を見学するため、エレベーターとインクライン（ケーブルカー）に分かれてダム下の見学場所へ移動しました。私はエレベーターで降りましたが、上の気温とは打って変わり、下の通路がかなり冷えているのには驚きました。いよいよ放流が始まると、轟音とともに大量の水が勢いよく流れ落ち、その迫力に圧倒されるばかりでした。

観光放流の後は、宮ヶ瀬ダムを後にして『道の駅清川』に立ち寄り、お土産を選んでから帰路につきました。

今回の研修会は、当初の予定とは異なる形となりましたが、新たな発見や感動があり、参加者にとって実りある一日となりました。

（支援者　数金）



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和７年８月４日～令和７年１０月２０日まで》

＜各種会議、行事＞

８月	４日(月)	かわさきキャラバン隊講演	多摩区社会福祉協議会
	１８日(火)	川崎市への施策要望書提出	川崎市役所本庁舎
	２５日(月)	第３回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
	２６日(火)	第２回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
	２９日(金)	三役会議	オンライン
９月	１０日(水)	川崎支部茶話会	かわさき地域生活支援拠点たじま
	１２日(金)	ナーシングホーム　アルク川崎長沢見学	ナーシングホーム　アルク川崎長沢
	１６日(火)	かわさきキャラバン隊講演	川崎市立東門前小学校
	１６日(火)	あさお語ろう会	特定非営利活動法人ぶらりば
	１７日(水)	第４回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
	２７日(土)	緑陰訓練　おもちゃのバンダイミュージアムとあしかがフラワーパーク	栃木県
	２９日(月)	NPO法人療育ねっとわーく川崎　グループホーム見学	NPO法人療育ねっとわーく川崎
１０月	１日(水)	三役会議	オンライン
	２日(木)	おしゃべり多摩	福祉パルたま研修室
	８日(水)	かわさきキャラバン隊講演	かわさき地域生活支援拠点たじま
	８日(水)	高津わいわい茶話会	福祉パルたかつ研修室
	１０日(金)	第３回研修事業推進委員会	オンライン
	１４日(火)	第５回運営委員会	オンライン

＜対外行事＞

８月	４日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
	５日(火)	市社協障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
	８日(金)	川崎市障害者施策審議会	川崎市役所本庁舎
	１９日(水)	三団体会長会議	地域福祉施設「ちどり」
	２０日(木)	やまゆり生活サポート協会研修会	オンライン
	２１日(金)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
９月	２日(火)	川崎市障害者社会参加推進会議	南部身体障害者福祉会館
	３日(水)	川崎市介助用大型ベッドに関するヒヤリング	川崎市役所本庁舎
	８日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	オンライン
	１１日(木)	あんしんセンター業務審査審議会	川崎市総合福祉センター
	１２日(金)	川崎市地域自立支援協議会	川崎市役所本庁舎
	１８日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
	２２日(火)	川崎市立中央支援学校運営協議会	川崎市立中央支援学校
	２４日(水)	やまゆり生活サポート協会理事会・三者会議	かながわ県民サポートセンター
	２９日(月)	第２回障害者作品展実行委員会	川崎市教育文化会館
１０月	１６日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
	１６日(木)	やまゆり生活サポート協会事業推進委員会	かながわ県民サポートセンター
	１７日(金)	かわしんふれあい市場	川崎信用金庫本店
	２０日(月)	川崎市バリアフリーまちづくり協議会	川崎市役所本庁舎
	２０日(月)	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

寄付金

高井　美惠子	３０，０００円	加藤　敦子	１０，０００円
三浦　ひろみ	５，０００円	鈴木　妙子	３，０００円

（敬称略・順不同）

編集後記

今号では川崎市への施策要望書提出、また川崎市議会議員団との懇談会について掲載しています。すぐに実現することが難しい課題もありますが、みんなで良い方向へ進みたいなという思いで活動しています。ホームページ・応援ナビ・Facebook でも紙面に載せきれない情報も掲載していますので合わせてご覧いただけると嬉しいです。それぞれに思いがあるかと思います。そんな声をぜひ、お寄せください。（木村　益美）

【もくじ】

Ｐ．１ ･･･川崎市への令和８年度施策要望提書提出
Ｐ．２ ･･･川崎市議会議員団との懇談会／
第９回手をつなぐフェスティバルのお知らせ
Ｐ．３ ･･･海水訓練／緑陰訓練
Ｐ．４ ･･･かわさきキャラバン隊講演／「手をつなぐ」購読のお知らせ
Ｐ．５ ･･･支部通信　川崎支部茶話会／あさお語ろう会／おしゃべり多摩
Ｐ．６ ･･･支部通信　高津支部わいわい茶話会／すったもんだの毎日／
やまゆり広告
Ｐ．７ ･･･施設紹介「ナーシングホーム　アルク川崎長沢」
Ｐ．８ ･･･グループホーム見学「ＮＰＯ法人療育ねっとわーく川崎『ひまわり荘』」
Ｐ．９ ･･･やまゆり研修会／障害者作品展のお知らせ
Ｐ．10 ･･･私たちの広場／ぜんち共済広告
Ｐ．11 ･･･親の会活動報告／寄付金
Ｐ．12 ･･･海水訓練・緑陰訓練写真掲載／編集後記／もくじ

…編集担当…
三浦ルイ子
安達ゆかり
木村益美
梅田順子
美和とよみ

発行責任者　川崎市育成会手をむすぶ親の会　会長　加藤　敦子
〒213-0011　川崎市高津区久本 3-6-22　地域福祉施設「ちどり」
TEL：044-812-2966　FAX：044-813-1216　http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki